

科目名	障害評価学			授業の種類	講義/演習	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間 (2単位)	配当学年・時期	義肢装具士科1年	後期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕 患者独自の問題を導き出し、患者の障害を正確に評価する能力は、義肢装具士にとって不可欠な技術であると考えられる。患者を綿密に評価することが、より適切な義肢・装具の提供に繋がることを理解する。また、義肢装具士にとってチーム医療の一員として働く上で、必要と思われる知識を修得する。								
〔授業全体の内容の概要〕 e-learningを併用する。Web上のマテリアルで予習をすませて授業に参加することを条件とする。 授業では、チュートリアル方式や実技を中心に進める。								
〔講師の実務経験〕 義肢装具士として、東北補装具製作所、前橋義肢製作所、カンボジアトラスト義肢プロジェクト、義肢財団 9年8ヶ月 に勤務。 義肢装具士科教員としてカンボジア義肢装具養成校、マヒドン大学シリントン義肢装具士養成校、スリランカ義肢装具士養成校に勤務。								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕 問診について必要な事項を抽出できる。正確な姿勢・歩行観察を行う事ができる。 正確にROMの測定やMMTを行う事ができる。正確な神経学的検査を行う事ができる。								
回数	講義内容							
1	評価学概論・主観的評価と客観的評価							
2	評価学概論・主観的評価と客観的評価							
3	クリアランステスト							
4	クリアランステスト							
5	姿勢							
6	姿勢							
7	歩行							
8	歩行							
9	MMTとROMの評価							
10	MMTとROMの評価							
11	神経学的評価							
12	神経学的評価							
13	復習							
14	足関節							
15	足関節							
16	膝関節							
17	膝関節							
18	股関節							
19	股関節							
20	肩関節・肘関節							
21	肩関節・肘関節							
22	手関節							
23	手関節							
	復習							

2020 年度

授業概要

科目名	障害評価学				授業の種類	講義/演習	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間 (2単位)	配当学年・時期	義肢装具士科1年	後期	必修・選択	必修	

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
障害評価学 WebCT	LaTrobe大学	LaTrobe大学

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

試験（終講試験・レポート・発表含む）により認定する。
